

リョービ株式会社

2018年12月期 決算説明会資料

(証券アナリスト、機関投資家向け)

2019年2月20日

I. 決算のポイント	4
II. 2018年12月期 連結業績	
A. 決算期変更	7
B. 損益計算書	8
C. 事業別の業績	11
D. 貸借対照表	13
E. キャッシュフロー増減	14
III. 2019年12月期 連結業績予想	
A. 業績予想	16
B. 設備投資・設備償却費の推移	19
C. 有利子負債・D/Eレシオの推移	20
IV. 事業環境と今後の取組み	
A. 事業別状況	22
B. リョービグループのSDGs	41
C. 剰余金の配当	44

I. 決算のポイント

3/45

決算のポイント

- **パワーツール事業の譲渡**
パワーツール事業を承継する新会社を2018年1月10日に設立し、新会社株式の80%を京セラ株式会社へ譲渡
(参考) 2018年3月期(前期)に含まれるパワーツール事業数値
売上高128億円 営業利益8億円
- **旭テックアルミニウムの株式取得及び吸収合併**
2018年4月2日付で旭テック株式会社の子会社である旭テックアルミニウム株式会社の発行済み株式の全部を取得
(参考) 2018年12月期に含まれる連結売上高23億円
2019年4月1日 旭テックアルミニウムを当社に吸収合併予定
- **減価償却方法の変更**
リョービ単独及び国内グループ会社の有形固定資産の減価償却方法を定率法から定額法に変更 影響額21億円減少

4/45

決算のポイント

- 2018年12月期実績 連結全体で増収・増益
(2018年3月期を2018年12月期実績の期間に合わせて比較した場合)
 - (ダイカスト)
国内、海外ともに旺盛な需要
海外は米国、メキシコ、英国、中国、タイすべての拠点で増収
 - (住建機器)
住建機器事業はパワーツール事業を譲渡した影響により減収減益
建築用品事業は国内ビル物件の受注が好調
 - (印刷機器)
印刷機器事業は国内・海外ともにB1印刷機が増加
国内で開催した大型展示会の費用計上などで減益

ダイカスト英国子会社で減損損失を計上
- 2019年12月期予想 連結全体で減収・減益
(2018年12月期を2019年12月期の期間に合わせて比較した場合)

5/45

II. 2018年12月期 連結業績

6/45

A. 決算期変更

	2017年				2018年				2019年			
	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12
国内		2018年3月期 1Q	2Q	3Q	4Q	2018年12月期 1Q	2Q	3Q	1Q	2Q	3Q	4Q
海外	2018年3月期 1Q	2Q	3Q	4Q	2018年12月期 1Q	2Q	3Q	1Q	2Q	3Q	4Q	

2018/12期（変則期間）：国内は'18年4月1日～12月31日の9ヵ月決算、海外は12ヵ月決算

ダイカスト売上比率推移

	'14/3	'15/3	'16/3	'17/3	'18/3
国内	56%	52%	46%	47%	47%
海外	44%	48%	54%	53%	53%

7/45

B. 損益計算書

単位：億円

	'18/3期 実績 (調整後)	'18/12期 実績	増減	増減理由
売上高	2,109	2,162	53 [2.5%]	パワーツール事業の減少影響 -128億円 これを除いた実質増減は+181億円
営業利益	118 (5.6%)	136 (6.3%)	18 [15.5%]	パワーツール事業の減少影響 -8億円 減価償却方法変更影響 +21億円 これらを除いた実質増減は+5億円
経常利益	117 (5.5%)	140 (6.5%)	23 [19.4%]	
親会社株主に 帰属する 当期純利益	78 (3.7%)	86 (4.0%)	8 [10.3%]	英国子会社において減損損失21億円計上
配当*	60円	70円	10円	

(注) '18/3 (調整後)は国内'17/4-12月、海外'17/1-12月の'18/12期に合わせた期間

* '17年10月1日付で5株を1株とする株式併合を実施している為、当該株式併合の影響を考慮した金額

()内は売上高利益率
[]内は増減率

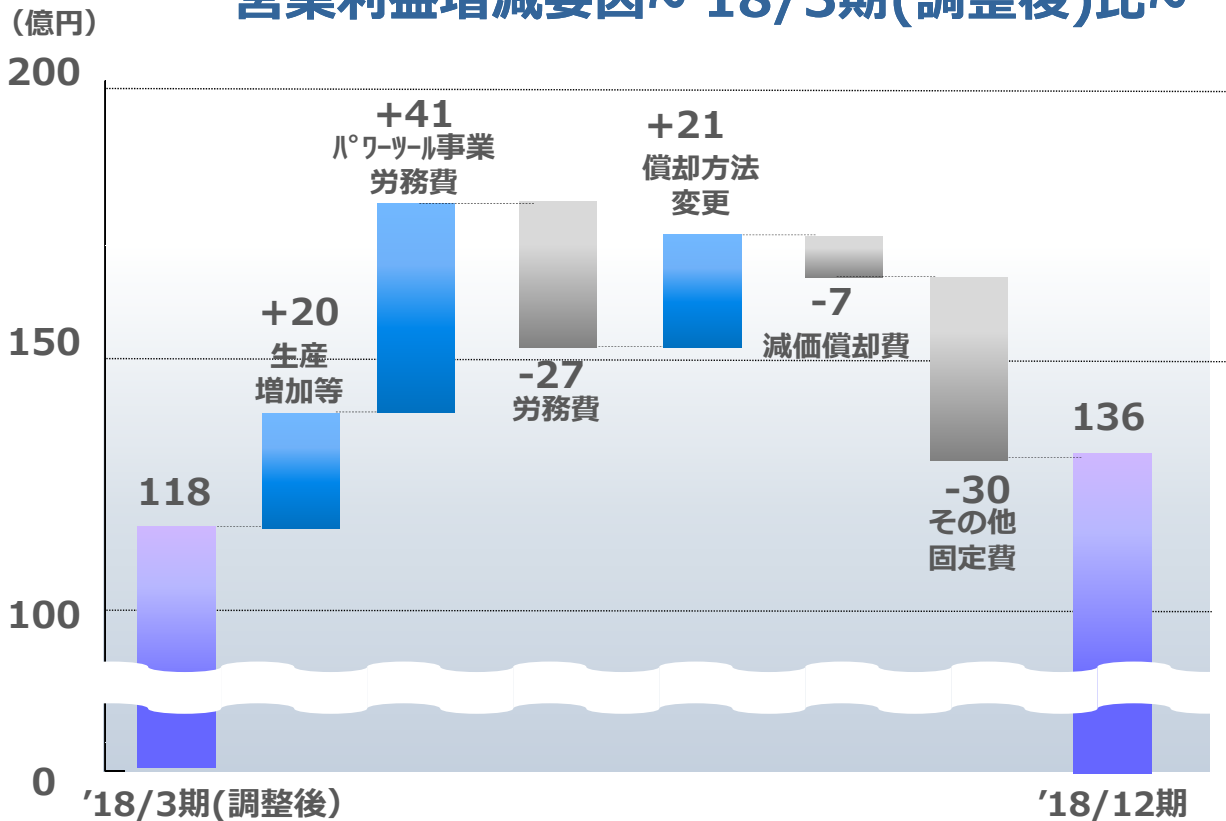
為替レート (期中平均)

米ドル	112円	111円	-1円
英ポンド	145円	148円	3円
中国元	16.6円	16.8円	0.2円
タイバーツ	3.3円	3.4円	0.1円

8/45

B. 損益計算書

営業利益増減要因～'18/3期(調整後)比～



9/45

B. 損益計算書

特別損益の主な内訳

(単位：億円)

	'18/12期
負ののれん発生益	6
その他	1
特別利益	7
固定資産処分損	2
減損損失	21
特別損失	23
特別損益	-16

負ののれん発生益

旭テックアルミニウムの
株式取得に伴う負ののれん発生益

減損損失

ダイカスト英国子会社において、
現在の厳しい欧州の経済状況、
及び将来の収益力を見直し減損
損失を計上

10/45

C. 事業別の業績

単位：億円
 () 内は売上高利益率
 [] 内は増減率

			'18/3期 実績(調整後)	'18/12期 実績	増減
ダイカスト	売上高		1,714	1,884	170 [9.9%]
	営業利益		96 (5.6%)	126 (6.7%)	30 [31.3%]
住建機器	売上高		206	79	-127 [-61.7%]
	営業利益		14 (6.8%)	4 (4.7%)	-10 [-73.3%]
印刷機器	売上高		187	197	10 [5.4%]
	営業利益		7 (4.0%)	6 (3.1%)	-1 [-19.4%]

(注) '18/3実績(調整後)は国内'17/4-12月、海外'17/1-12月の'18/12期に合わせた期間

11/45

C. 事業別の業績

'18/12期事業別構成比

単位：億円
 () 内は構成比

		ダイカスト	住建機器	印刷機器	合計
売上高	国内	801	79	197	1,080
	海外	1,083	-	-	1,083
	合計	1,884 (87%)	79 (4%)	197 (9%)	2,162 (100%)
営業利益		126 (93%)	4 (3%)	6 (4%)	136 (100%)
設備投資	国内	109	2	2	114
	海外	86	-	-	86
	合計	195 (98%)	2 (1%)	2 (1%)	200 (100%)

(注) '18/12期は国内'18/4-12月、海外'18/1-12月
 合計にはその他を含む

12/45

D. 貸借対照表

- 国内ダイカスト事業を中心とした設備投資で有形固定資産が増加。
- 棚卸資産は増加したものの中国子会社での売上債権減少、投資有価証券の期末評価額減少。為替（円高）の影響も加わり、総資産は減少。

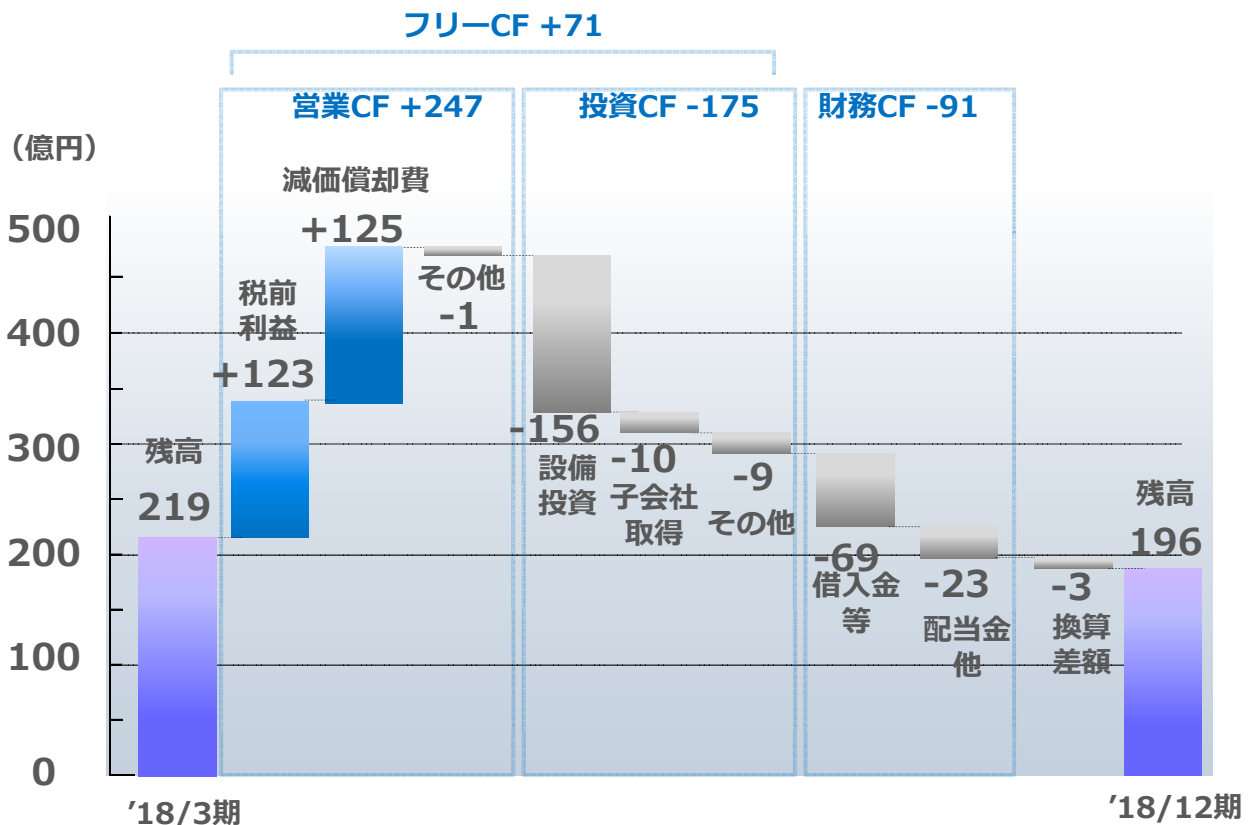
単位：億円

	'18/3	'18/12	増減	為替影響		'18/3	'18/12	増減	為替影響
流動資産	1,344	1,303	-41	-24	流動負債	1,038	1,009	-29	-18
現預金	232	208	-24	-3	仕入債務	459	452	-7	-5
売上債権	632	584	-49	-10	短期借入金	383	323	-61	-10
有価証券	7	8	1	-0	その他	196	235	39	-4
棚卸資産	438	469	31	-9	固定負債	451	425	-26	-7
その他	35	35	0	-2	長期借入金 (含む社債)	320	297	-23	-6
固定資産	1,382	1,387	5	-30	その他	131	129	-2	-1
有形固定資産	1,078	1,123	45	-28	株主資本	1,084	1,148	64	-0
無形固定資産	31	35	5	-1	その他の包括利益 累計額	76	19	-57	-29
投資 その他の資産	274	229	-45	-1	非支配株主持分	77	88	11	0
資産合計	2,727	2,690	-37	-54	純資産合計	1,238	1,255	17	-29
					負債・純資産合計	2,727	2,690	-37	-54

為替レート (期末日レート)	米ドル	英ポンド	中国元	タイバーツ
'18/3	113.00	151.95	17.29	3.45
'18/12	111.00	140.46	16.16	3.41

13/45

E. キャッシュフロー増減



14/45

Ⅲ. 2019年12月期 連結業績予想

15/45

A. 業績予想

減収・減益

単位：億円
 ()内は売上高利益率
 []内は増減率

	'18/12期 実績 (調整後)	'19/12期 予想	増減	増減理由
売上高	2,525	2,455	-70 [-2.8%]	ダイカストでは国内・海外ともに減収見通し 中国、米国の新車販売台数の減少見通しが主要因 印刷機事業では欧州、中南米向けが減少の見込み
営業利益	150 (5.9%)	111 (4.5%)	-39 [-25.8%]	減収に伴う減益、固定費(労務費・減価償却費)の増加
経常利益	152 (6.0%)	110 (4.5%)	-42 [-27.7%]	-
親会社株主に 帰属する 当期純利益	92 (3.6%)	78 (3.2%)	-14 [-15.1%]	-

(注) '18/12期実績(調整後)は国内の'18/1-3月を加え、'19/12期に合わせた期間('18/1-12月)

為替レート ('18/12月期期中平均) (想定レート)

米ドル	111円	110円
英ポンド	148円	140円
中国元	16.8円	16.5円
タイバーツ	3.4円	3.4円

1%円高に変動した場合の
年間の営業利益影響額

米ドル	-80百万円
英ポンド	-10百万円
中国元	+10百万円

16/45

A. 業績予想

単位：億円
 () 内は売上高利益率
 [] 内は増減率

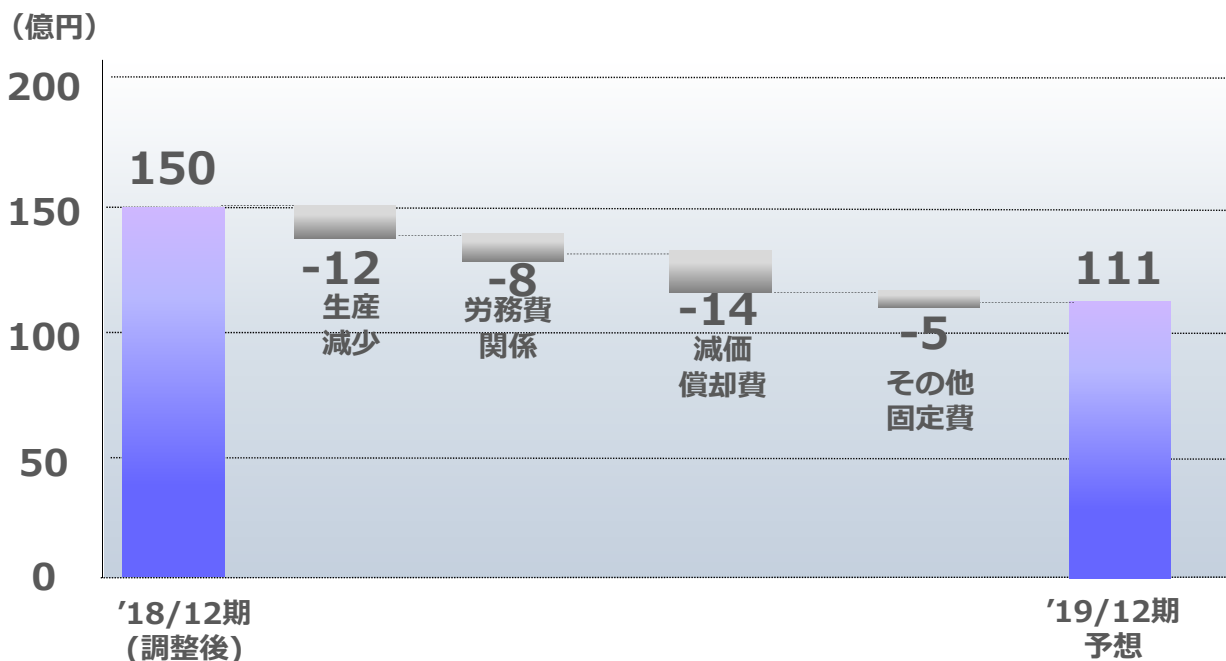
		'18/12期 実績 (調整後)	'19/12期 予想	増減	見通しのポイント
ダイカスト	売上高	2,134	2,080	-54 [-2.5%]	国内・海外ともに減収 '19年前半は中国を中心に新車販売台数が減少 労務費、減価償却費負担が増加
	営業利益	135 (6.3%)	100 (4.8%)	-35 [-25.9%]	
住建機器	売上高	104	105	1 [0.8%]	消費増税後の需要減速懸念もあり、 売上、利益ともにほぼ横ばい
	営業利益	4 (4.2%)	5 (4.8%)	1 [15.4%]	
印刷機器	売上高	285	270	-15 [-5.2%]	欧州や中南米向けが減少見込み 減収に伴う減益に加え、新商品開発費の増加により減益
	営業利益	10 (3.6%)	6 (2.2%)	-4 [-41.9%]	

(注) '18/12期実績(調整後)は国内の'18/1-3月を加え、'19/12期に合わせた期間('18/1-12月)

17/45

A. 業績予想

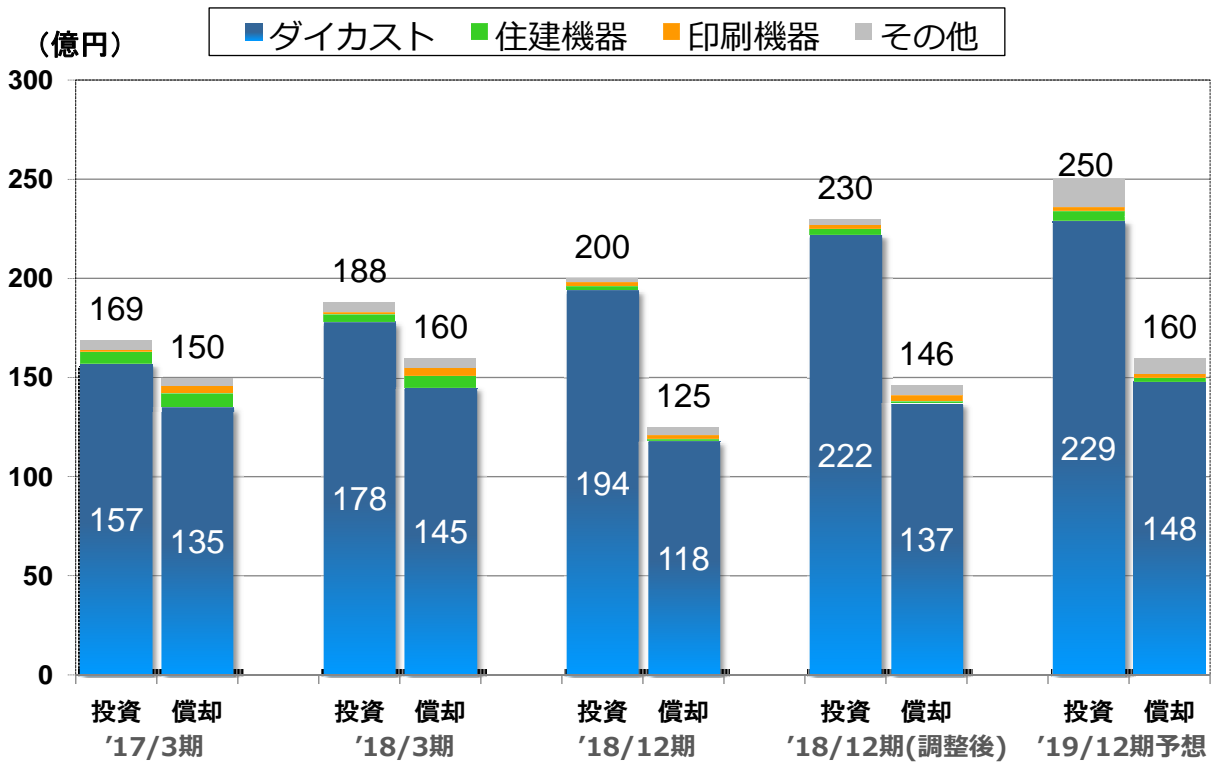
営業利益増減要因~'18/12期(調整後)比~



(注) '18/12期 (調整後)は国内の'18/1-3月を加え、'19/12期に合わせた期間('18/1-12月)

18/45

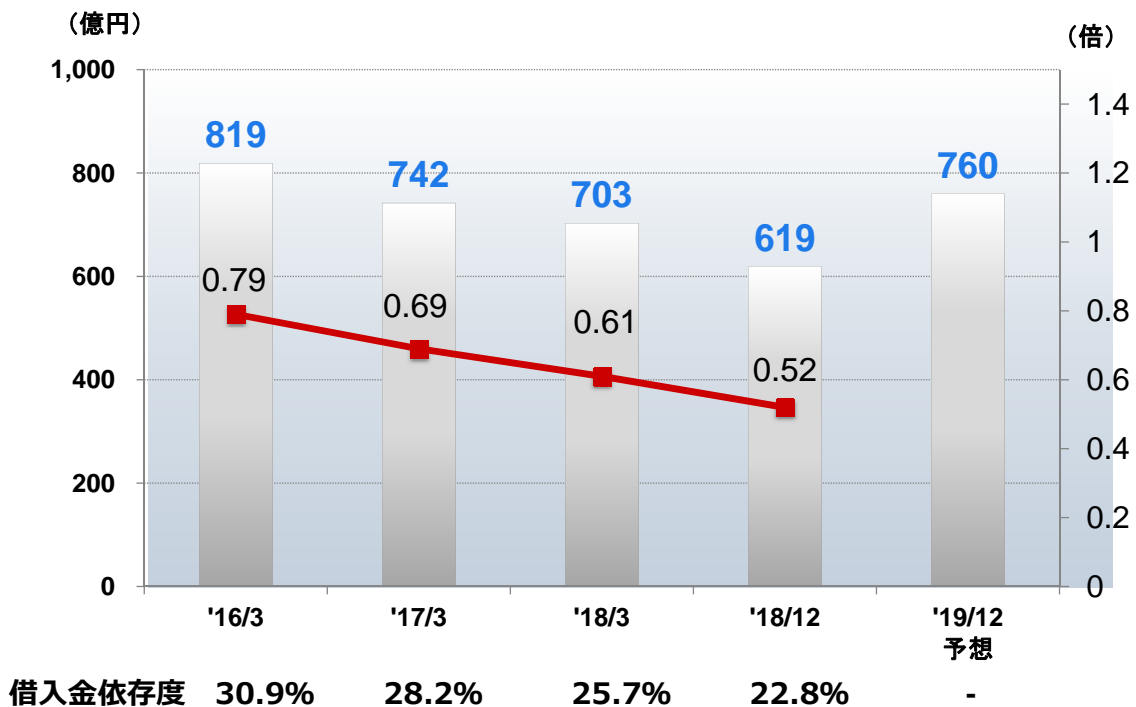
B. 設備投資・減価償却費の推移



(注) '18/12期より、国内の有形固定資産の減価償却方法を定率法から定額法に変更
'18/12期(調整後)は国内の'18/1-3月を加え、'19/12期に合わせた期間('18/1-12月)

19/45

C. 有利子負債・D/Eレシオの推移



(注) 借入金依存度 = 有利子負債 / 総資産

20/45

IV. 事業環境と今後の取組み

21/45

A. 事業別状況

ダイカスト事業 環境と施策

◆環境

- 新興国を中心とした自動車販売の増加
⇒難易度の高い製品の生産、開発支援ニーズが高まる
- 燃費規制により軽量化ニーズ（材料置換・薄肉化）が高まる
- 米中貿易摩擦、新N A F T A (USMCA)の影響

◆施策

- 戦略製品の工法開発
（ボディ・シャシー、軽量化部品、エンジンブロック、電動化部品）
- グローバル製品供給体制の強化
（生産能力、拠点増強、ボディ・シャシー供給体制）
- 生産設備の自動化

22/45

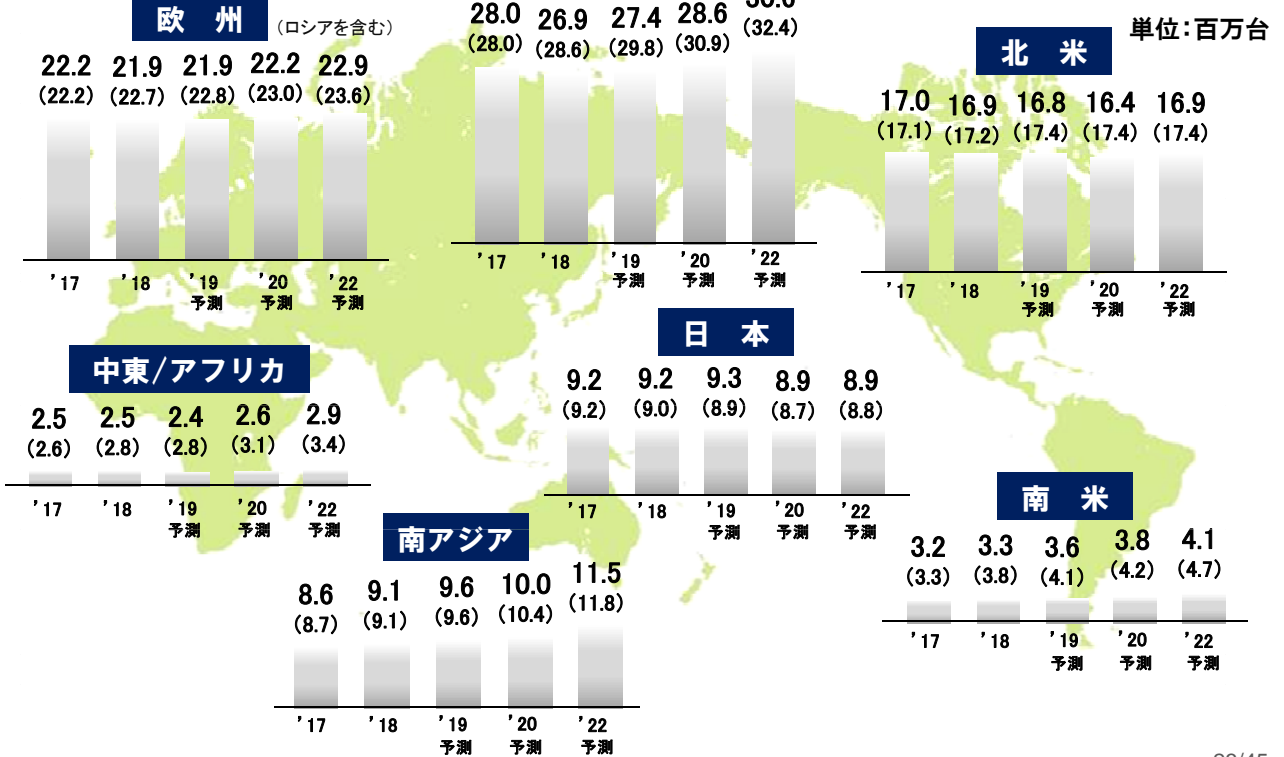
A. 事業別状況

ダイカスト事業

世界の自動車生産の予測

出典:2019年2月 IHS予測

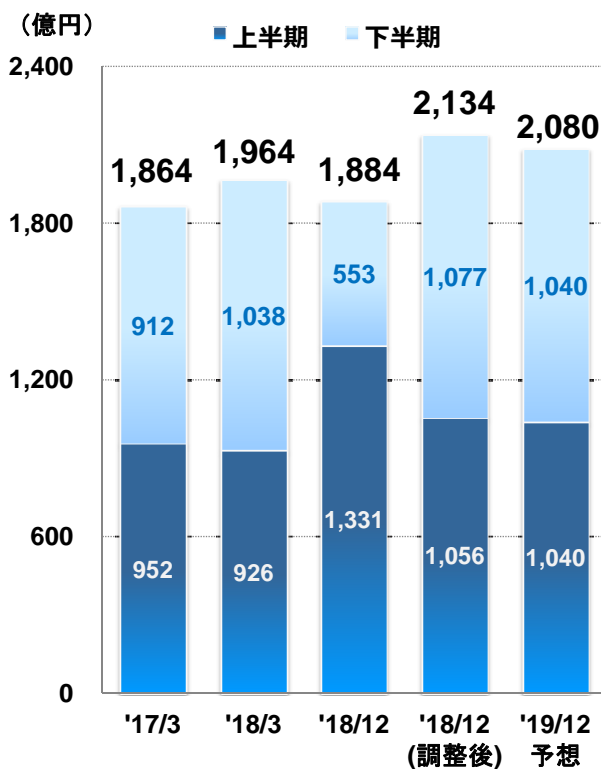
(カッコ内は2018年5月 IHS予測)



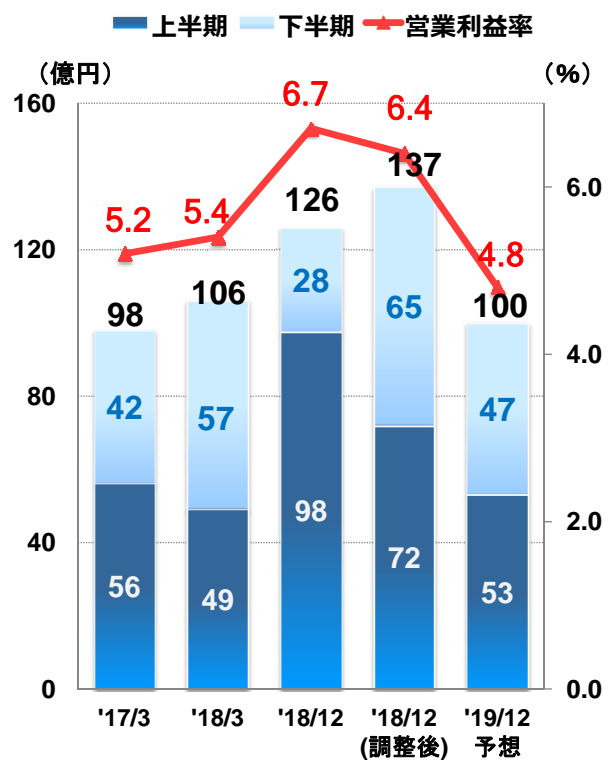
A. 事業別状況

ダイカスト事業

売上高の推移



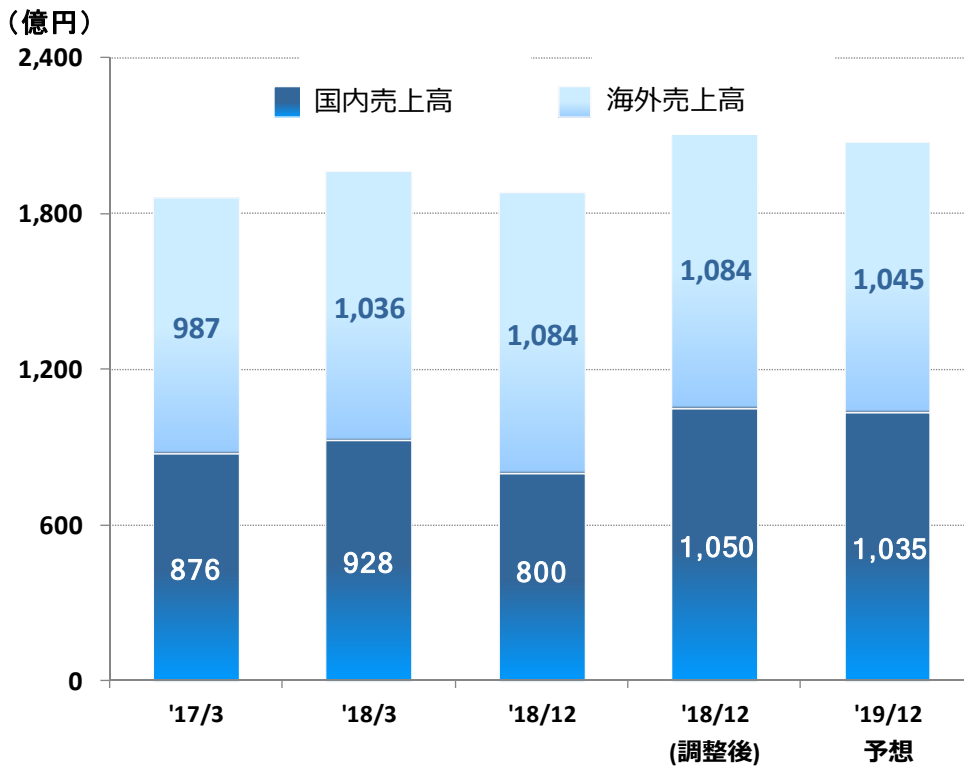
営業利益・売上高営業利益率の推移



(注) '18/12(調整後)は国内の'18/1-3月を加え、'19/12期に合わせた期間('18/1-12月)

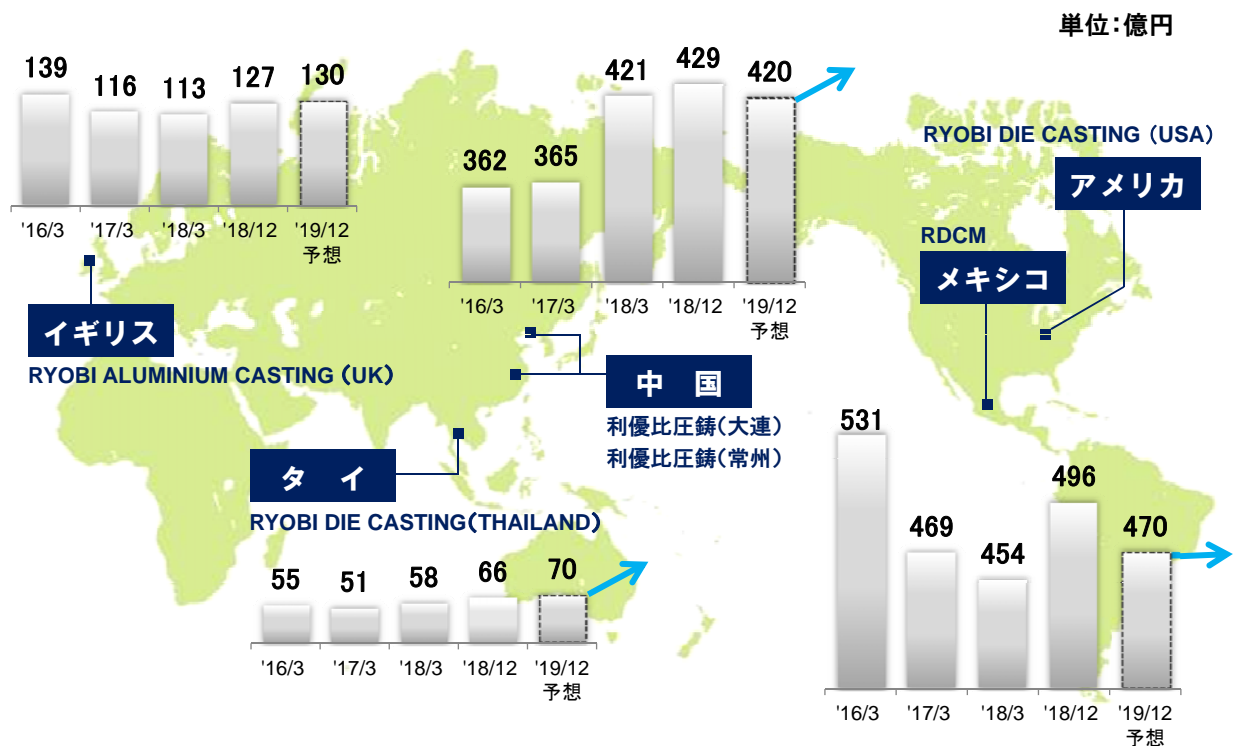
A. 事業別状況

ダイカスト事業 国内・海外売上高の推移



A. 事業別状況

ダイカスト事業 海外地域別売上高の推移



A. 事業別状況

ダイカスト事業 お得意先の取引状況

売上高順位（'18/12期）と地域別納入実績

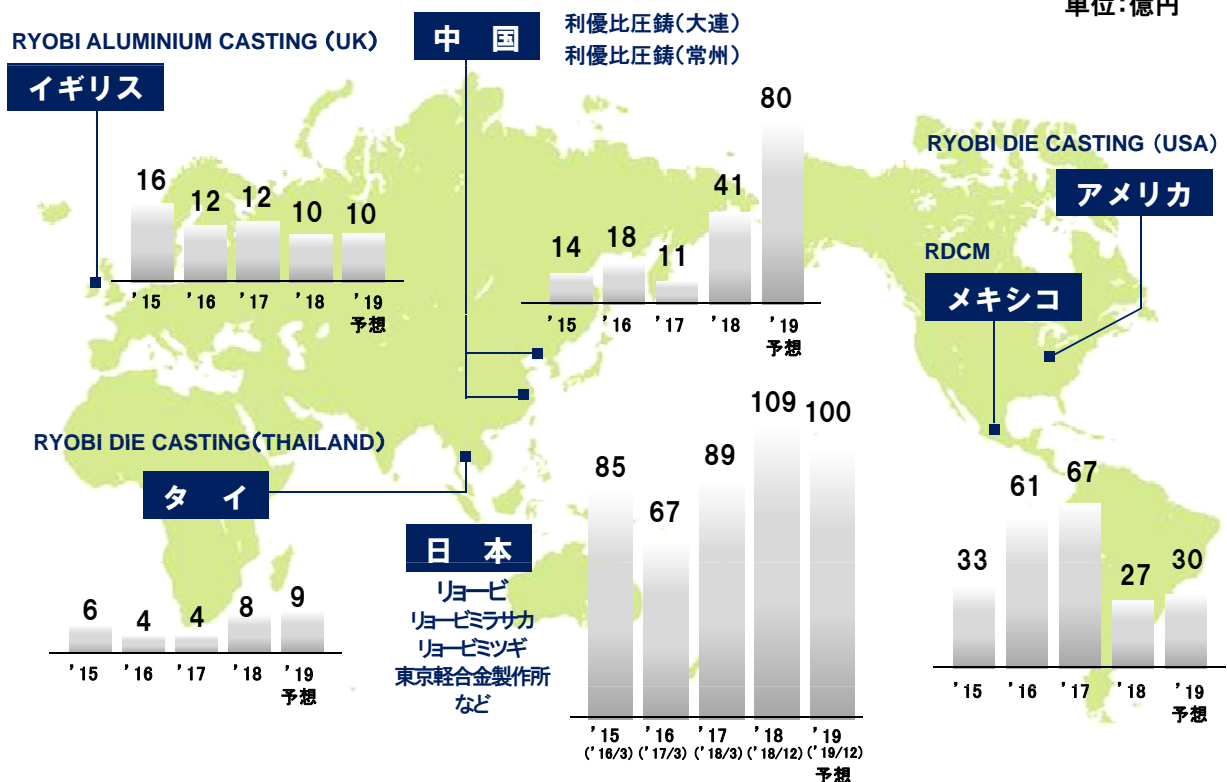
順位	お得意先	日本	北米	欧州	中国	東南アジア	その他
1	ゼネラルモーターズ		✓		✓		
2	フォード・モーター		✓	✓	✓		
3	フォルクスワーゲン			✓	✓		
4	SUBARU	✓					
5	アイシン・エイ・ダブリュ	✓			✓		
6	ジヤトコ	✓	✓		✓	✓	
7	三菱自動車工業	✓			✓	✓	
8	スズキ	✓				✓	
9	日野自動車	✓				✓	
10	本田技研工業	✓	✓		✓	✓	

(注) お得意先の工場が存在する地域で、ダイカスト製品の納入実績がある地域に✓点を付けている。
(当社拠点からの直接・間接輸出分を除く)

A. 事業別状況

ダイカスト事業 地域別設備投資の推移

単位:億円



A. 事業別状況

ダイカスト事業 主な設備投資



リョービミラサカ株式会社（広島県三次市）
新規品（ボディ部品）対応 鋳造・加工設備等 約35億円



旭テックアルミニウム株式会社（静岡県菊川市）
鋳造機2500トンの2台、加工設備等 約25億円



利優比压铸（常州）有限公司（中華人民共和国 常州市）
日系顧客向け新規品対応 鋳造機増設（4台）等 約40億円



利優比压铸（大連）有限公司（中華人民共和国 大連市）
欧州系顧客向け製品の増産対応、日系顧客向け新規品対応等 約40億円

29/45

A. 事業別状況 ダイカスト事業トピックス

「人とくるまのテクノロジー展 2018」に出展

（2018年5月23日～25日 パシフィコ横浜）

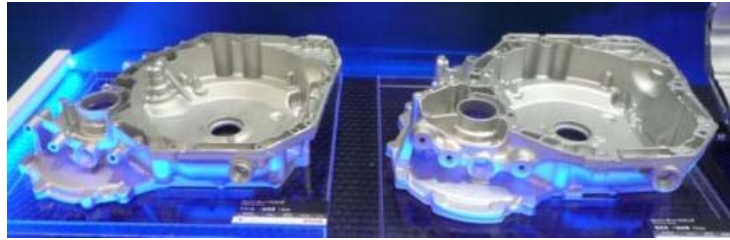


自動車の軽量化ニーズに応えるボディ・シャシー関連製品や
HV、EV、FCVなどエコカー向けダイカスト製品を展示。

30/45

A. 事業別状況 ダイカスト事業トピックス

「人とくるまのテクノロジー展 2018」で、
ダイカスト軽量化技術を紹介



ダイカスト量産品



薄肉化トライ品

製品の薄肉化により
3.7mm厚から1.5mm厚に
製品重量が5.8kgから3.2kgに

31/45

A. 事業別状況

住建機器事業 環境と施策

◆環境

- ドアクローザ市場は微減傾向
- 同業他社のドアクローザビジネス撤退

◆施策

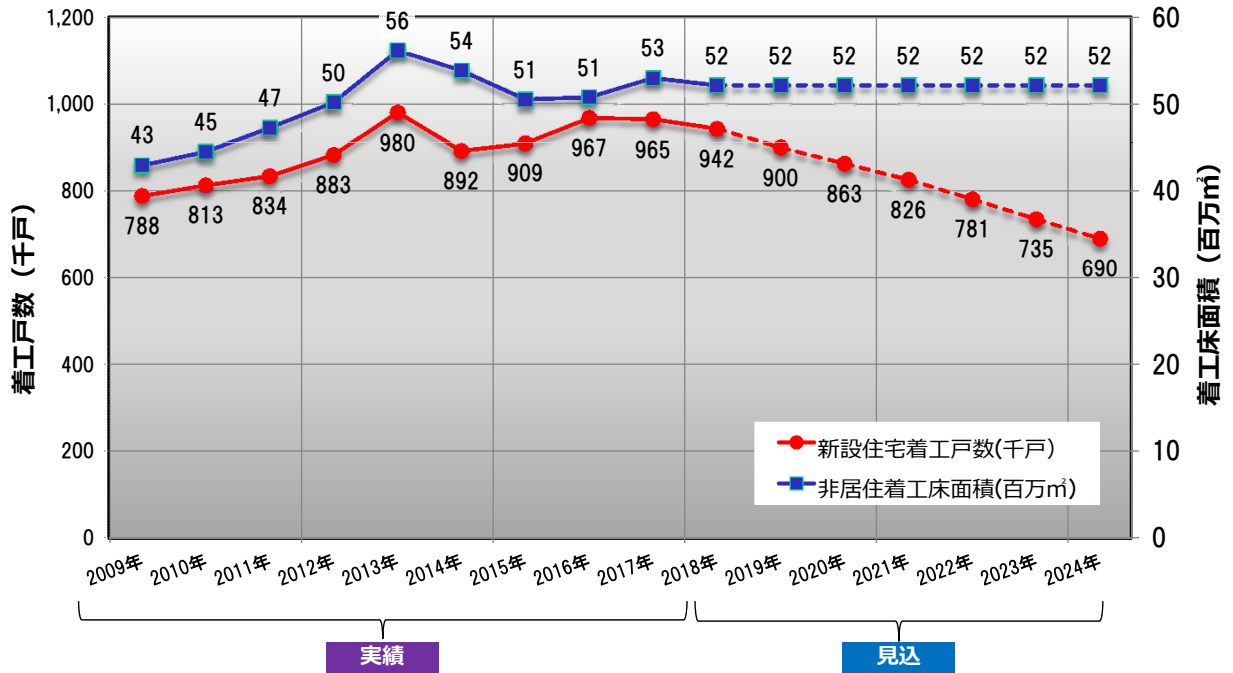
- 国内ドアクローザ市場でのシェア拡大
- 高付加価値の商品開発
- 国内生産体制の強化

32/45

A. 事業別状況 住建機器事業トピックス

環境分析 国内市場推移の予測

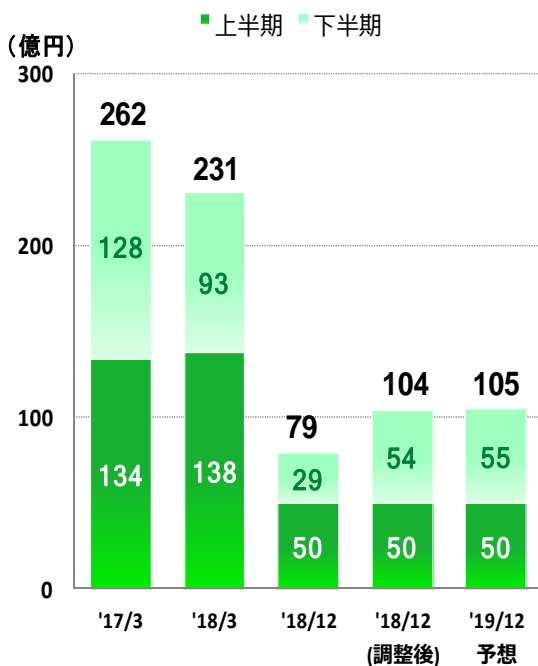
国内建設市場推移



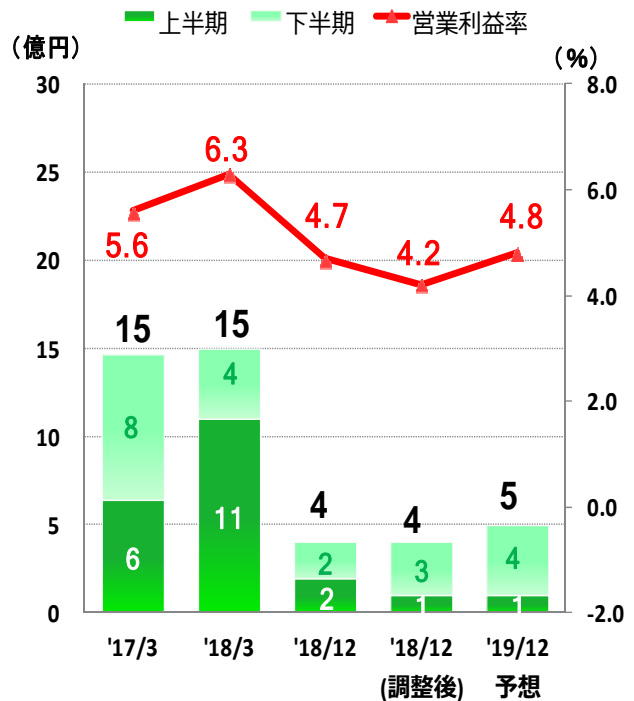
(出典 実績：国土交通省建築着工 統計調査報告書、2019年以降は当社調べ)

A. 事業別状況 住建機器事業

売上高の推移



営業利益・売上高営業利益率の推移



(注) '18/12(調整後)は国内の'18/1-3月を加え、'19/12期に合わせた期間('18/1-12月)

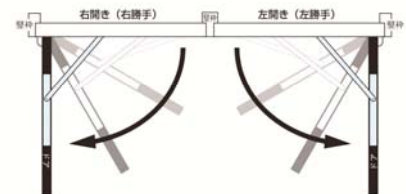
A. 事業別状況 住建機器事業トピックス

建築材料・住宅設備総合展「KENTEN 2018」に出展

(2018年6月7日、8日 於インテックス大阪)



コンシールドドアクローザ



通行に便利なドアオープン仕様

ドアの中に格納するコンシールドタイプのドアクローザをアピール。意匠性を考慮した、「強化ストッパー仕様」や通行に便利な「ドアオープン仕様」を展示。

35/45

A. 事業別状況

印刷機器事業 環境と施策

◆環境

- 枚葉オフセット印刷機市場は微減
- デジタル印刷は増加傾向
- パッケージ印刷を中心に高付加価値印刷は堅調
- 国内の人手不足、新興国の人件費高騰

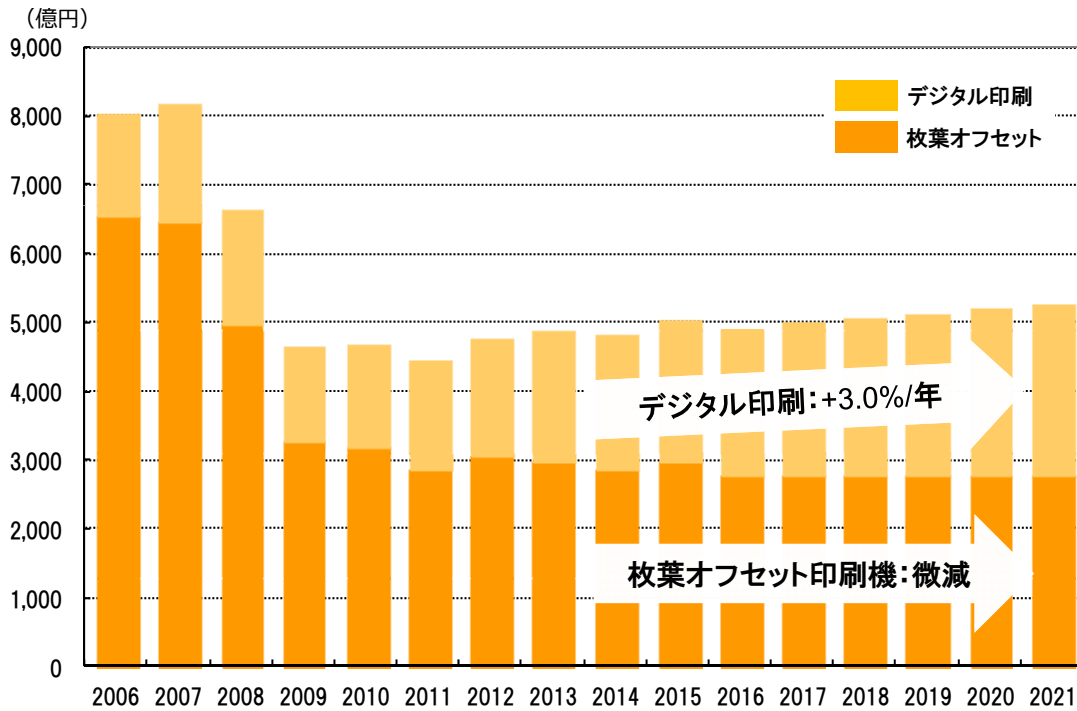
◆施策

- 商品力の強化
- 顧客満足度の向上
- 印刷現場の自動化
- 従来印刷物以外への用途拡大

36/45

A. 事業別状況 印刷機器事業

世界の枚葉印刷機市場（全サイズ）

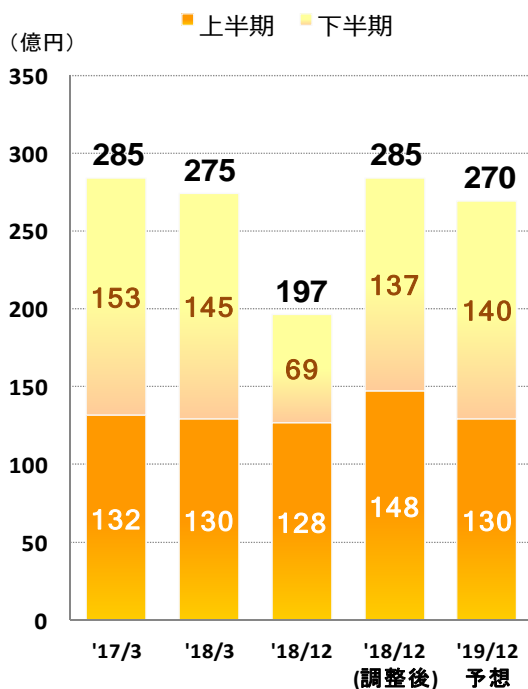


出典:各社の決算資料等より 当社調べ(2018年11月)

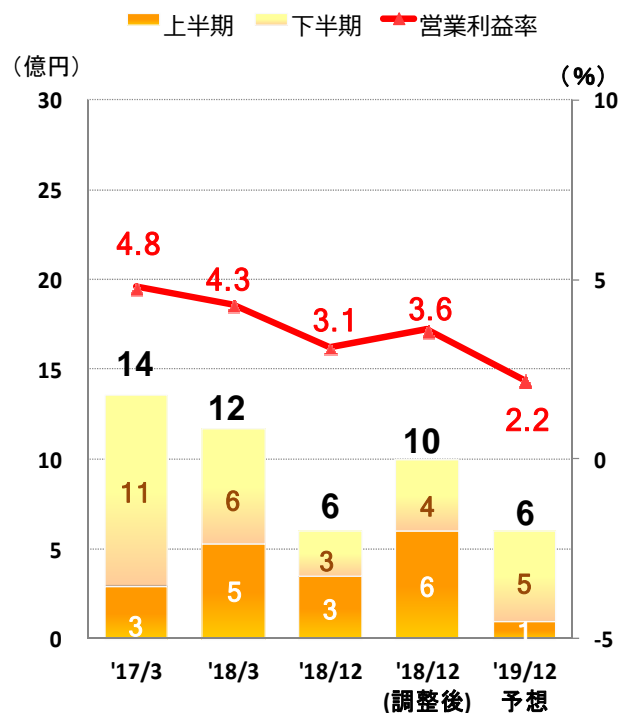
37/45

A. 事業別状況 印刷機器事業

売上高の推移



営業利益・売上高営業利益率の推移



(注) '18/12(調整後)は国内の'18/1-3月を加え、'19/12期に合わせた期間('18/1-12月)

38/45

A. 事業別状況 印刷機器事業 トピックス

国際総合印刷機材展「IGAS 2018」に出展

(2018年7月26日～31日 東京ビッグサイト)

東京ビッグサイトで開催された国際総合印刷機材展「IGAS 2018」に出展。「Assist Your Potential（技術力と創造力で、あなたの可能性を支援する）」をテーマに、IoTの活用やロボットによる自動化など印刷業界の未来像を提案。



39/45

A. 事業別状況 印刷機器事業 トピックス

印刷機の迅速な復旧支援を実現 「RMGT遠隔支援システム」

RMGT遠隔支援システムはお客様の印刷機と当社のサービスコントロールセンターをインターネットで結び、リアルタイムに印刷機の復旧支援を行うサービス。



40/45

B. リョービグループのSDGs

重点的な取り組みを進めている目標

 <p>5 ジェンダー平等を 実現しよう</p>	ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワーメントを図る	 <p>6 安全な水とトイレ を世界中に</p>	すべての人に水と衛生へのアクセスと持続可能な管理を確保する
 <p>7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに</p>	すべての人々に手ごろで信頼でき、持続可能かつ近代的なエネルギーへのアクセスを確保する	 <p>8 働きがいも 経済成長も</p>	すべての人のための持続的、包摂的かつ持続可能な経済成長、生産的な完全雇用およびディーセント・ワーク（働きがいのある人間らしい仕事）を推進する
 <p>9 産業と技術革新の 基盤をつくろう</p>	強靱なインフラを整備し、包摂的で持続可能な産業化を推進するとともに、技術革新の拡大を図る	 <p>12 つくる責任 つかう責任</p>	持続可能な消費と生産のパターンを確保する

* 「エンパワーメント」とは活躍支援の意味。

* 出典：国連開発計画（UNDP）駐日代表事務所 41/45

B. リョービグループのSDGs

具体的な取り組み

重要テーマ	対応する 主なSDGs目標	具体的な取り組み
地球環境 への配慮		<p>アルミダイカスト製品の拡販、CO₂削減、水資源の効率利用、廃棄物削減、有害物質削減への取り組み、省エネ・軽量化ニーズの対応、リサイクルの推進</p> 
技術革新		<p>新たな技術・素材による新商品開発、自動化・省力化ニーズに対応した新商品・サービス</p> 
働き方改革 の推進		<p>ダイバーシティの推進、多様な働き方の推進、健康経営の推進</p> 
その他社会的 要請への対応		<p>雇用の創出、技術の継承、法令遵守、企業理念の徹底</p> 

B. リョービグループのSDGs

リョービグループ健康宣言

リョービグループは、社員が心身ともに健康で、それぞれの個性や能力を最大限に発揮することが、社員の幸福、企業の発展につながると考えています。企業理念にある「健全で活力にみちた企業」として発展・成長し続け、社会に貢献していくため、グループが一体となって、社員とその家族の心身の健康保持・増進を推進し、健康でいきいきと働くことができる環境づくりに取り組んでいきます。

<取り組み方針>

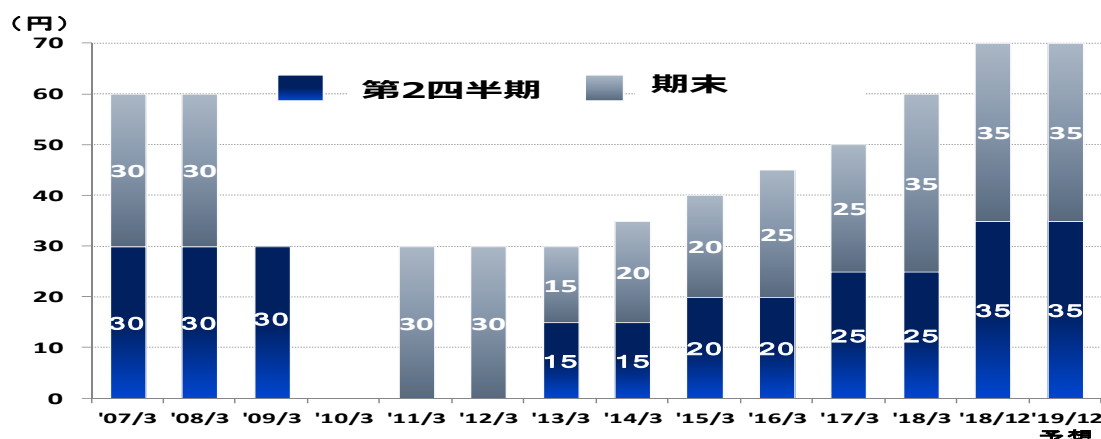
1. 社員一人ひとりの健康に対する意識を高め、社員自らが疾病予防や健康の保持・増進に取り組むことを積極的に支援します。
2. 安全・健康を最優先に考え、すべての社員が安心して働ける環境、いきいきと働ける職場づくりに努めます。

43/45

C. 剰余金の配当

(利益配分に関する基本方針)

中長期的に連結業績の向上を図り、成長投資と株主の皆様への安定した利益還元
の維持を基本としております。



		'07/3期	'08/3期	'09/3期	'10/3期	'11/3期	'12/3期	'13/3期	'14/3期	'15/3期	'16/3期	'17/3期	'18/3期	'18/12期	'19/12期 予想
1株当たり 配当金 (円)	第2四半期	30	30	30	0	0	0	15	15	20	20	25	25	35	35
	年間	60	60	30	0	30	30	30	35	40	45	50	60	70	70
配当性向 (連結)	年間	20.4%	24.5%	618.4%	-	21.1%	23.2%	48.3%	27.4%	34.0%	15.7%	19.4%	24.8%	26.4%	29.0%
設備投資 (億円)	年間	204	153	156	71	90	203	275	162	156	162	169	188	200	250

(注) '17年10月1日付で5株を1株とする株式併合を実施している為、当該株式併合の影響を考慮した金額

44/45

当資料には、当社の計画・戦略・業績等の将来予想に関する情報が含まれています。

これらの記載は、現在入手可能な情報に基づいて当社が判断したものであり、これにはリスクおよび不確実な要素が含まれています。

当社の実際の行為、業績は、経済情勢、事業環境、需要動向、為替動向等により、将来予想とは大きく異なる可能性があります。